HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	大墩保安語における中国語借用語dʑu「就」の機能
Author(s)	アルラ
Citation	北方言語研究, 16, 319-333
Issue Date	2026-03-20
DOI	https://doi.org/10.14943/2115.99356
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/99356
Type	departmental bulletin paper
File Information	17_Arula.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北方言語研究 16: 319-333（日本北方言語学会 2026）

［資料・研究ノート］

大墩保安語における中国語借用語 dʐu「就」の機能

ア ル ラ
（東京外国語大学大学院）

キーワード：保安語（モンゴル諸語）、記述言語学、言語接触、語用論的機能

1. はじめに

中国国内において、モンゴル諸語は、一般的に中国語との接触環境に置かれている。そのため、これらの言語には中国語からの借用語が広く存在しており、その形態も多様である。その中でも保安語においては、中国語からの借用は音韻・語彙にとどまらず、一部の中国語借用語が文法化を経て、保安語の文法体系の一部になっている。その一例は、大墩保安語に借用され、目的語主題化文において受身の意味を表わすに至った中国語の「是」である。

アルラ (2023)によれば、中国語「是」は大墩保安語に借用され、主題標識として機能している。大墩保安語には受身を表す形態素が存在しない。これは中国内のモンゴル諸語の中だけでなく、周辺の甘粛・青海地域に分布するモンゴル諸語においても特異な文法的特徴である。アルラ (2025)はさらに、大墩保安語では中国語借用語 ʂi「是」による目的語主題化文は受身の意味を表すと述べている。このことから、大墩保安語における中国語「是」の借用は、文法体系に統語的および機能的な影響を及ぼしていると考えられる。本稿では、このような言語接触の背景を踏まえ、「是」と同様に広く用いられている大墩保安語における中国語借用語 dʐu「就」が有している機能を検証することを目的とする。

著者が採録した大墩保安語の談話資料に見られる中国語借用語 dʐu は、その機能が明確ではなく、先行研究においても十分な検討が行われていない。そこで、大墩保安語における中国語借用語 dʐu の機能を考察するため、談話資料に現れる中国語借用語 dʐu の使用状況を分析した。その結果、中国語借用語 dʐu は大墩保安語において情報構造および談話の結束性の観点から重要な語用論的機能を担っていることが明らかになった。情報構造の観点から見ると、中国語借用語 dʐu の前の要素は談話内の旧情報を、後ろの要素は新情報を示す。さらに、中国語借用語 dʐu は複数のイベントを連結する場合に用いられ、談話の結束性を高める機能を持っている。

本稿の構成は以下の通りである。2 節では、保安語の概要及び中国語借用語 dʐu の統語的特徴と関連する大墩保安語の副動詞について概観する。3 節では、保安語における中国語借用語に関する研究と本稿に用いられる情報構造の理論及び結束性に関する概念をまとめる。4 節では、本稿で扱う談話資料について紹介する。5 節では、中国語における「就」の概要を述べる。6 節では、中国語借用語 dʐu の統語的特徴について記述する。7 節では、中国語借用語 dʐu の機能的特徴を考察し、大墩保安語における中国語借用語 dʐu と中国語における「就」の機能の対照を行う。8 節は、結論として考察のまとめと今後の課題について述べる。

2. 保安語の概要

2.1 節では、保安語の地理的情報を簡潔に示す。2.2 節では、中国語借用語 dʑu の統語的特徴を考察するために、その出現環境と関連する大墩保安語の副動詞について概観する。

2.1 保安語の地理的情報

保安語はモンゴル諸語に属する。甘粛・青海地域のモンゴル諸語として、保安語のほかに東郷語、東部裕固語、土族語、康家語などが挙げられる。

保安語は、中国の保安族および一部の土族により話されている。保安語は地理的分布に基づき、甘粛省の積石山方言と青海省の同仁方言という二つの方言に分けられる。保安語積石山方言は、中国甘粛省臨夏回族自治州積石山保安族東郷族撒拉族自治県に居住する保安族により話されている。積石山方言は、話されている村ごとに、さらに大墩保安語[1]、干河灘保安語[2]などの下位方言に分けられる。保安語同仁方言は、中国青海省黄南蔵族自治州同仁県に居住する一部の土族により話されている。同仁方言は、さらに保安下庄保安語、年都乎保安語などの下位方言に分けられる。

保安語には、その言語環境的背景、歴史的関係、および宗教文化的要因により、中国語、チベット語、チュルク諸語など周辺諸言語からの影響が見られる。布和・陳乃雄 (1981)は、青海省の同仁方言と甘粛省の積石山方言の主な違いは借用語の割合であると指摘している。地理的分布により、同仁方言はチベット語の影響が大きく、大量のチベット語借用語がある。積石山方言は漢語の影響が大きく、大量の漢語借用語がある。また甘粛省の保安族はイスラム教を信仰するため、積石山方言はチュルク諸語借用語が比較的多い。保安語の積石山方言は、同仁方言に比べて中国語の影響がより深い点で特徴的である。保安語積石山方言における中国語の影響は、単なる音韻・語彙の借用にとどまらず、一部の中国語借用語が文法化を経て、文法体系の一部になっている。

2.2 大墩保安語の副動詞

大墩保安語には七種類の副動詞接尾辞が存在する。具体的には、-dʑi (同時・系列)、-aŋ(連合)、-sədə(譲歩)、-gum (即刻)、-sə(条件)、-lə(目的)、-təla(制限)である。これらの副動詞接尾辞は、機能的観点から二種類のタイプに分けられる。第一のタイプは副詞節を形成し、主動詞と結合して文を終えることができる。前述の-dʑi (同時・系列)、-aŋ(連合)、-lə(目的)、-təla(制限)がこれに属する。一方、第二のタイプは副詞節を形成するが、主動詞と結合して文を終えることができない。前述の-sədə(譲歩)、-gum (即刻)、-sə(条件)がこれに属する。本稿で扱う中国語借用語 dʑu は、これらの副動詞接尾辞のうち -dʑi, -gum, -sə の三種の副動詞接尾辞に後続する。そのため、本節では主にこれら三つの副動詞接尾辞の特徴を概観する。

副動詞接尾辞-dʑi は、動詞語幹に付加されて主として以下の三つの機能を果たす。一、例(1)に示すように主動詞と同時に起こる動作を表す。二、例(2)に示すように主動詞より前に起こる動作を表す。三、例(3)に示すように主動詞が起こる手段または原因を表す。

---

[1] 大墩保安語は、中国・甘粛省積石山県大河家鎮大墩村に居住する保安族によって使用されている。保安語の積石山方言の下位方言の一つである。

[2] 干河灘保安語は、中国・甘粛省積石山県大河家鎮干河灘村に居住する保安族によって使用されている。保安語の積石山方言の下位方言の一つである。

(1) təŋgə-gu tɕonə əu-gə dziɕiŋtʂə-gə χonə-**dʐi** ɕy
そのようにする-PTCP.NPST 時 男の子-SG 自転車-SG 乗る-SIM 木
duŋ-də rə-o.
下-DAT 来る-IND.PST
「その時、男の子が自転車に乗って木の下に来た。」

(2) ɕiomiŋ morə-də asgə-saŋ dʐydzi-nə aruŋ taŋgə-**dʐi**
人名 道路-DAT 散る-PTCP.PST ミカン-ACC 全部 拾う-SEQ
landzi-də dʐoŋgə-**dʐi** okə-tɕ.
カゴ-DAT 入れる-SEQ あげる-IND.PST
「小明は道に散ったミカンを全部拾ってカゴに入れた。」

(3) ki χil-**dʐi** ndaŋ-nə ne-tɕ.
風 吹く-SIM ドア-ACC 開く-IND.PST
「風が吹いてドアを開いた。」

副動詞接尾辞-gum は、動詞語幹に付加され、-gum の表す動作が終わった後すぐ主動詞の動作が発生することを表す。

(4) etχoŋ təχa χil-**gum**, vei-lə dʐi-dʐo bəi.
朝 鶏 鳴く-IMM 背負う-INT 行く-PRF INTJ
「朝、鶏が鳴くと(水)を背負いに行っていた。」

副動詞接尾辞-sə は、動詞語幹に付加されて以下の二つの機能を持つ。一つ目に、例(5)に示すように主動詞が行われる条件を表す。二つ目に、例(6)に示すように主動詞が発生する時間を表す。三つ目に、例(7)に示すように主動作が発生する原因を示す。

(5) təŋgə-sə dʐu χorə rə-dʐi, tə-nə dʐiŋtʂaŋ
そうようにする-COND dʐu 怒り 来る-SEQ あれ-ACC いつも
varə-**sə**, varə edə-nə.
掴む-COND 掴む できない-IND.NPST
「そうすると、怒りが湧いてきて、いつもあれを掴もうとしても、掴めない。」

(6) gudə ɕiro-də bu ʂaŋdien-də duŋɕigə apə-lə dʐi-**sə**,
昨日 午後-DAT 1SG 商店-DAT もの 買う-INT 行く-COND
sə samətɕyŋ gədʐi ɢulɢəi mənə tɕienbao-nə ɢalχə-tɕ.
NEG 注意 と 泥棒 1SG.GEN 財布-ACC 盗む-IND.PST
「昨日の午後、私が商店に買い物に行ったとき、不注意で泥棒が私の財布を盗んだ。」

(7) amo χarə-dʐi rə-**sə**, hanə bes-dʐo.
母 帰る-SIM 来る-COND みんな 喜ぶ-PROG
「母は帰ってくると、みんなが喜ぶ。」

3. 先行研究

本節では、まず保安語における中国語借用語に関する研究を紹介する。次に中国語借用語 dʐu の意味機能を分析するにあたって用いられる情報構造の理論及び結束性に関する概念をまとめる。

3.1 保安語における中国語借用語

収集した大墩保安語の談話資料からは、多くの中国語からの借用語が確認される。例えば、dʐu「就」(関して)、ʂi「是」(である)、dʐəŋdʐəŋdi「真正地」(本当に)、kəndiŋ「肯定」(肯定)、ɕien「先」(まず)、idʐi「一直」(ずっと)、iban「一般」(一般に)、fandʐəŋ「反正」(ともかく)などが挙げられる。

陈乃雄 (1990:19)および敏春芳ほか (2020:187)は、それぞれ干河滩保安語と保安語積石山方言において、中国語借用語 dʐu の使用が見られることを指摘している。しかし、保安語における中国語借用語に関する先行研究には、中国語借用語 dʐu についての詳細な分析は見当たらない。

3.2 情報構造

Lambrecht (1994:50)によれば、「旧情報」とは、発話時に話者が聞き手の心の中ですでに使用可能であると想定する文で誘起される「知識」の合計であり、「新情報」とは、発話自体によってその知識に追加される情報である。

大墩保安語において、中国語借用語 dʐu は通常、前の文の内容を繰り返す構文、または指示代動詞 təŋgə- (そのようにする)によって前述の内容を指示する構文に後続する。Lambrecht (1994)の旧情報の定義に基づけば、これらの繰り返し表現または指示表現は旧情報とみなすことができる。

3.3 結束性

Halliday and Hasan (1976:10)によれば、「結束性」とは、ある文をそれの前の文と結びつけるための意味的資源の集合である。

また、Halliday and Hasan (1976:4)は、「結束性は、談話の中のある要素の解釈が談話内の別の要素の解釈に依存している場合に生じる。すなわち、ある要素は別の要素を前提としており、後者に依存しないと前者を効果的に解釈することができない」と述べている。

大墩保安語における中国語借用語 dʐu の出現位置について結束性の観点から概観すると、dʐu は通常、前文の情報を繰り返す場合、または前述内容を指示する場合に後続する。また、中国語借用語 dʐu は二つの文を結び付け、談話において dʐu の後続部分が前述情報に対する依存性を示している。

3.1 に述べた通り先行研究においては、中国語借用語 dʐu に関する詳細な記述は見られない。本稿では、情報構造および結束性の観点から、大墩保安語の談話資料に現れる中国語借用語 dʐu の機能について考察する。

4. 談話資料

本稿で用いられる談話資料は、著者が 2023 年 8 月から 9 月、および 2024 年 9 月から 10 月にかけて中国・甘粛省積石山県大河家鎮で行った言語調査により採録したデータである。本稿で用いられる例文は、5〜7 分程度の口述物語から抽出したものである。

著者の調査に協力してくださったコンサルタントは、1949 年生まれ、大墩村出身の馬瑞氏である。馬瑞氏は、保安語に加え、現地の中国語臨夏方言[3]、中国語普通話を話す。馬瑞氏は保安族の言語や民話等に関する豊富な知識を持っており、非物質文化伝承人という称号を得ている。馬瑞氏は大墩村出身であり、1971 年から退職まで大墩村の小学校で教職に就いていたことから、氏が話す保安語は大墩保安語と推定される。

本稿の例文のうち、出典の表示のないものは著者の調査によるものである。

5. 中国語「就」の概要

中国語における「就」には、動詞、副詞、介詞と接続詞としての用法がある。

漢典[4]によると、動詞としての「就」には、多様な意味用法が存在する。以下ではその一部を例として挙げる。

① 「近づく・接近する」

(8) 主人 **就** 东 阶, 客 **就** 西 阶。(漢典「就」による)
主人 就 東 階段 客 就 西 階段
「主人は東階段へ進み、客は西階段へ進む。」

② 「従事する・開始する」

(9) **就** 事 (漢典「就」による)
就 仕事
「従事する」

③ 「おかずにする」

(10) 炒 鸡蛋 **就** 饭。(漢典「就」による)
炒める 卵 就 ご飯
「卵焼きをご飯のおかずにする。」

④ 「完成する・確定する」

(11) 三 窟 已 **就**, 君 姑 高枕 为乐 矣。(漢典「就」による)
三 巣穴 すでに 就 1SG.HON ひとまず 安心 享楽 INTJ
「三つの万全の策が整いました。どうかご主君は、これで安心してくつろいでください。」

⑤ 「受ける・〜される」

(12) **就** 封 (漢典「就」による)
就 封
「封を受ける」

吕叔湘(1999:315)によれば、副詞としての「就」は、以下のような機能を有する。

[3] 臨夏方言とは、大墩保安語の話者が居住する中国・甘粛省臨夏回族自治区の地域で話される中国語の西北方言の一つである。

[4] 漢典「就」https://www.zdic.net/hans/%E5%B0%B1. [2026 年 2 月 6 日アクセス].

① 短時間内に発生することを表す。

(13) 天 很 快 **就** 亮 了。(吕叔湘 1999:315)
空 とても 早い 就 明るい PFV
「空はすぐに明るくなった。」

② すでに発生したことを強調する。

(14) 他 十五 岁 **就** 参加 了 工作。(吕叔湘 1999:315)
3SG 十五 歳 就 参加する PFV 仕事
「彼は 15 歳で働き始めた。」

③ 二つの事柄が連続して発生することを表す。

(15) 看 完 **就** 明白 了。(吕叔湘 1999:316)
見る 終わる 就 わかる INTJ
「見れば、すぐわかる。」

④ 肯定を強調する。

(16) 他 家 **就** 在 这 胡同 里头。(吕叔湘 1999:316)
3SG 家 就 ある この 胡堂 中に
「彼の家はこの胡堂の中にある。」

⑤ ただ・範囲を確定する。

(17) 老 两 口 **就** 一 个 儿子。(吕叔湘 1999:316)
年配 二 人 就 人 個 息子
「老夫婦には息子が一人だけいる。」

⑥ 数量の多少を強調する。

(18) 他 **就** 要 了 三 张 票, 没 多 要。(吕叔湘 1999:317)
3SG 就 もらう PFV 三 枚 チケット NEG 多い もらう
「彼はチケットを三枚しかもらわなかった、多くはもらっていない。」

⑦ 前文を受けて結論を導くことを表す。

(19) 如果 他 去, 我 **就** 不 去 了。(吕叔湘 1999:317)
もし 3SG 行く 1SG 就 NEG 行く INTJ
「彼が行くなら、私は行かないことにする。」

吕叔湘(1999:318)によれば、介詞としての「就」は、以下のような機能を有する。

① 動作の対象や範囲を導入する。

(20) 大家 **就** 创作 方法 进行 了 热烈的 讨论。(吕叔湘 1999:318)
みんな 就 創作 方法 行う PFV 活発な 討論
「みんなは創作方法について活発な討論を行った。」

② ある側面から論述することを表す。

(21) **就** 我 来说, 再 走 二十 里 也 行, 可是 体 弱的
就 1SG とって さらに 歩く 二十 里 も できる でも 体 弱い
同志 该 休息 一会儿 了。(吕叔湘 1999:318)
同志 べき 休む 少し INTJ

「私にとしては、あと 20 里歩いても大丈夫ですが、体の弱い同志たちは少し休憩したほうがいいでしょう。」

③ 接近する、近づくことを表す。

(22) **就** 近 入学 (吕叔湘 1999:318)
就 近い 入学
「近隣入学」

吕叔湘(1999:318)によれば、接続詞としての「就」は、仮定と譲歩の機能を有する。

(23) 你 **就** 赶到 车站 也 来不及 了。(吕叔湘 1999:319)
2SG 就 駆けつける 駅 もう 間に合わない INTJ
「君が駅に駆けつけたとしても、もう間に合わない。」

6. 中国語借用語 dʐu の統語的特徴

本節では大墩保安語における中国語借用語 dʐu の統語的特徴を検討する。

大墩保安語における中国語借用語 dʐu の文中での出現形式は以下のように分類できる。

① 副詞節

中国語借用語 dʐu は通常、-dʐi, -gum, -sə の三種の副動詞接尾辞で終わる副詞節の後に現れる。これら副詞節は主に、時間や条件を表す従属節として機能する。副動詞接尾辞によって dʐu の接続方法は異なる。具体的には、副動詞接尾辞-gum, -sə で終わる副詞節には dʐu が直接接続可能であるが、副動詞接尾辞-dʐi で終わる副詞節には、「～した後/その後」を意味する接続詞 gina/ -na[5]を介して接続され、-dʐi gina dʐu または-dʐi-na dʐu の形で出現する。また、著者の調査によれば、中国語借用語 dʐu が後続する副詞節では、前文の内容が繰り返される傾向にある。具体的には、約 65%[6]は前文情報の一部を繰り返している。

I. 時間副詞節

中国語借用語 dʐu は「同時・系列副動詞接尾辞＋接続詞」-dʐi gina/ -na に後続する。この場合、-dʐi gina dʐu/ -dʐi-na dʐu の前後の二つの動作は順序的に連続して行われることを表す。例(24)に示す通りである。

(24) kurgaŋ gədʐi kurgaŋ nəkur-ɕalə jaŋ-də agu-nə χaməniu-də
新郎 と 介添え-COM 何-DAT 娘-GEN 実家-DAT
səliamu kalə rə-m. **səliamu** **nəgə** **kalə-dʐi**
挨拶 話す 来る-IND.NPST 挨拶 一つ 話す-SEQ
gina **dʐu**, ta hanə jenɕi-də rə
その後 dʐu 2PL みんな 宴席-DAT 来る

[5] gina と-na は、「～した後で」または「その後」という意味を表し、副動詞接尾辞-dʐi と共起する接続詞である。両者は、従属節を主節に接続したり、等位の文を結んだりする機能を持つ。形態的特徴として、gina は独立した自由形態素であるのに対し、-na は必ず先行する副動詞接尾辞-dʐi に後続し、それから分離できない形態である。

[6] 大墩保安語の六つの談話資料において、中国語借用語 dʐu の使用が合計 82 例現れた。その中、副詞節に後続する用法が 59 例あり、前文情報の一部を繰り返す用法は 37 例見られた。

gə-dʑi	nəgə	ur-dʑi	gina,	kurgaŋ	gədʑi
CONN-SEQ	一つ	誘う-SEQ	その後	新郎	と

kurgaŋ nəkur-ɢalə-də	suibien	tɕa-gə	u-ɢə-dʑi	ju-ɢə-m.
介添え-COM-DAT	気軽に	お茶-SG	飲む-CAUS-SEQ	去る-CAUS-IND.NPST

「新郎と介添えが娘の実家に挨拶に行った。挨拶をして、みんなを宴席に招待する。それから新郎と介添えにお茶をおごって、二人は帰っていった。」

中国語借用語 dʑu は即刻副動詞接尾辞-gum に直接後続する。例(25)が示すように、dʑu の前の動作が起こった直後に、その後の動作が行われることを示す。

(25)

agu-nə	nəχoŋ-sə	toujitien	aχoŋ	dedi	nəkaχə-nə	məɕi-dʑi
娘-GEN	ここ-ABL	最初の日	イマーム	老人	ニカーフ-ACC	読む-SEQ

gina,	əŋga	veirə	apə-tɕyŋ	kuŋ-lə	ju-dʑi	gina,
その後	3	花嫁	娶る-PTCP.PROF	人-PL	去る-SEQ	その後

ju-gum	**dʑu**	χaməniu	kuŋ	kurgə	dʑi-saŋ.
去る-IMM	dʑu	娘の実家	人	送る	行く-PTCP.PST

「最初の日、娘の側でイマーム老人がニカーフを唱えた後、嫁を娶る人たちが帰ったらすぐに、実家の人たちが娘を送っていった。」

II. 条件副詞節

中国語借用語 dʑu は条件副動詞接尾辞-sə に直接後続する。下の例(26)が示すように、-sə dʑu に先行する動作が、その後に続く動作の成立条件になることを表す。条件副詞節の中で特に、中国語借用語 dʑu は、「指示代動詞＋条件副動詞」からなる təŋgə-sə に後続する用例が多く見られる。この場合、təŋgə-sə の前文の内容が、その後のイベントの成立条件となることを表す。下の例(27)が示す通りである。指示代動詞 təŋgə- (そのようにする)は、前述の内容を指示する機能を有する。

(26)

hanə	tɕa-mangə	u-dʑi	təŋgə-dʑi	əŋgə-sə
みんな	お茶-概称	飲む-SEQ	そのようにする-SEQ	このようにする-COND

ɢənəi-də-gu	kuŋ	apə-lə	rə-saŋ.	**ɢənəi-də-gu**
夫の実家-DAT-ADJZ	人	娶る-INT	来る-PTCP.PST	夫の家-DAT-ADJZ

apə-lə	**rə-sə**	**dʑu**	ɕien	aχoŋ	deidə-nə
娶る-INT	来る-COND	dʑu	まず	イマーム	老人-ACC

kuŋ	ur-dʑo	bəi.
人	誘う-PROG.NPST	INTJ

「みんなでお茶を飲んでいるとき、夫の実家の人が来た。夫の実家の人が来たら、まずイマーム老人を呼びます。」

(27)

əŋgə-dʑi	tɕentɕen	dʑogə-də	da	ɢalχə-dʑi	ndə-dʑisaŋ.
このようにする-SEQ	毎日	台所-DAT	再び	盗む-SEQ	食べる-PROG.PST

təŋgə-sə	**dʑu**	χorə	rə-dʑi	tə-nə	dʑiŋtʂaŋ
そのようにする-COND	dʑu	怒り	来る-SEQ	それ-ACC	いつも

varə-sə,　varə　edə-nə.
掴む-COND　掴む　できない-IND.NPST
「(猫は)毎日台所で盗んで食べていた。そうしたら、(彼は)腹が立って、いつもつかまえようとするが、つかまらない。」

② 名詞句

中国語借用語 dʐu は名詞句の後にも現れる。dʐu に後続される名詞句は、例(28)が示す通り、一般的に前文で指示された内容を繰り返す。

(28) təŋgə-sə　dʐu　bədə-nə　tɕimsi-də-gu　χotuŋ　kuŋ　ɕignogə
そのようにする-COND　dʐu　1PL-GEN　近所-DAT-ADJZ　女　人　親切
o.　da　tə　bədən-də　ŋga　saŋ　i.
COP　また　それ　1PL-DAT　非常に　良い　COP
tɕimsi-də-gu　**χotuŋ**　**kuŋ-gə**　**dʐu**　bədən-də　dʐiŋtʂaŋ
近所-DAT-ADJZ　女　人-SG　dʐu　1PL-DAT　いつも
veilə-dʐi　okə-tɕ　bəi.
背負う-SIM　あげる-IND.PST　INTJ
「その頃、私たちの隣人の女性はとても親切で、私たちによくしてくれていた。隣人の女性はよく私たちに(水を)背負ってくれていた。」

③ 文頭

中国語借用語 dʐu は文頭に現れることもあるが、その出現頻度は前述の三種の用法に比べて少ない[7]。

(29) gagə　gə-sə　ʂisansi　olə-tɕ.　ʂisansi　gə-sə　dʐu
お兄さん　QUOV-COND　十三、四　なる-IND.PST　十三、四　QUOV-COND　dʐu
dangə　da-dʐo.　**dʐu**　gagə　dangə-dʐo.
担ぐ　できる-PRF　dʐu　お兄さん　担ぐ-PRF
「兄は十三、四になった。十三、四なら担げる。それから兄さんが担いた。」

まとめ

大墩保安語における中国語借用語 dʐu は、通常、副動詞接尾辞-dʐi, -gum, -sə で終わる副詞節に後続される。中国語借用語 dʐu は副動詞接尾辞-gum および-sə に直接後続することができるが、副動詞接尾辞-dʐi に後続する場合には、「〜した後/その後」を意味する接続詞 gina/-na を介する必要があり、-dʐi gina dʐu または-dʐi-na dʐu のような形で現れる。さらに、中国語借用語 dʐu は名詞句の後にも現れる。頻度は低いものの、中国語借用語 dʐu が文頭に置かれることもある。

[7] 大墩保安語の六つの談話資料において、中国語借用語 dʐu の使用が合計 82 例現れた。その中、中国語借用語 dʐu は名詞句に後続する用法が 14 例あり、文頭に現れる用法が 9 例見られた。

7. 中国語借用語 dʑu の機能的特徴

本章では大墩保安語における中国語借用語 dʑu の語用論的機能について考察する。それに基づき、中国語借用語 dʑu と中国語における副詞「就」の機能の対照を行い、中国語借用語 dʑu が中国語の副詞「就」から借用した可能性のある機能について検討する。

7.1 中国語借用語 dʑu の語用論的機能

6 節で示した大墩保安語の例文、およびそれに対応する中国語借用語 dʑu を含まない例文についてコンサルタントに確認したところ、中国語借用語 dʑu が用いられない文は文法的に誤りがないが、話者にとっては若干異なるニュアンスを伴うことが示唆された。また、例(30)のように収集した談話資料からも、同じ統語的環境で中国語借用語 dʑu が用いられない例が見られる。

(30) ɕiomiŋ ɕue andərə-dʑi gina, ɕiaŋdʑio-nə nd-aŋ nd-aŋ
人名 学校 散る-SEQ その後 バナナ-ACC 食べる-ASC 食べる-ASC
morə-də ju-dʑo bəi. ɕiaŋdʑio-nə ndə var-dʑi gina,
道-DAT 去る-PROG.NPST INTJ バナナ-ACC 食べる 終わる-SEQ その後
ɕiaŋdʑio-nə arsuŋ-nə morə nəgtə oʂgə-tɕ bəi.
バナナ-ACC 皮-ACC 道 端 捨てる-IND.PST INTJ
「小明は学校が終わった後、バナナを食べながら歩いていた。食べ終わった後、バナナの皮を道端に捨てた。」

中国語借用語 dʑu は統語的に必須要素ではないため、本章では語用論的観点から考察し、特に情報構造及び結束性に注目する。

情報構造の観点から見ると、大墩保安語における中国語借用語 dʑu は、その前後の文(節)が情報構造上、明確な対比関係にあることを示している。具体的には、中国語借用語 dʑu の前の要素は、前文で既に言及された情報を繰り返したり、指示したりすることによって、談話における旧情報を構成する。一方、中国語借用語 dʑu の後の要素は、新たに提示される新情報として機能する。

談話の結束性からは、前述のような前文情報の繰り返しまたは指示は、聞き手の注意を旧情報へ誘導し、新情報の導入に必要な談話的前提を整える役割を果たす。また、旧情報を繰り返す・指示することによって、談話の結束性が強化される。

(31) əŋga-nə ɢənəi-də-gu tɕintɕi-lə ndeva-də-gu-lə igua təχoŋ
3-GEN 夫の実家-DAT-ADJZ 親戚-PL 村-DAT-ADJZ-PL 全部 そこ
logla-dʑi <u>təχoŋ</u> hanə <u>sagə-</u>dʑo. **təχoŋ** **sagə-sə**
集める-SEQ そこ みんな 待つ-PROG.NPST そこ 待つ-COND
dʑu, agu-nə təχoŋ dʑi-ɢə-sə ndaŋ meilə
dʑu 娘-ACC そこ 行く-CAUS-COND ドア 前
kurgə-sə, əŋga-lə təχoŋ-gu ɢənəi-də-gu kuŋ-lə dugə-dʑi
送る-COND 3-PL そこ-ADJZ 夫の実家-DAT-ADJZ 人-PL ふさぐ-SIM

lə dʐi-ɢə-m.
NEG 行く-CAUS-IND.NPST
「彼の婚家の親戚、村の人たちがみんなそこに集まって待っていた。そこで待っていて、娘をドアの前まで送っていくと、嫁ぎ先の人たちが立ちふさがって、行かせない。」

例文(31)では、下線部 təχoŋ sagə-がその後の文で təχoŋ sagə-sə dʐu の形で繰り返されている。このように、前文で既に提示された情報を後文で繰り返す際に dʐu が後続されることによって、新情報の導入に必要な談話的前提が整えられ、談話の結束性が高められる。

しかし、大墩保安語において、中国語借用語 dʐu は必ずしも前文情報の繰り返し、または指示に用いられるわけではない。特定の談話文脈において、中国語借用語 dʐu は前文中の情報を明示的に繰り返したり指し示したりすることなく、複数のイベントを直接に連結する場合もある。こうした前文情報を繰り返さない、指示しない用例においても、中国語借用語 dʐu の談話機能は、上に述べた繰り返し・指示の機能と本質的に同じであると考えられる。話し手が前文情報を繰り返したり指示したりしないのは、聞き手が新しく導入された新情報を既に提示された旧情報と結びつけられるという前提に基づき、明示的な言語形式を必要としないと判断しているためである。こうした文脈では、中国語借用語 dʐu は複数のイベントを連結し、談話の結束性を高める機能を担っている。

(32) doguŋ morə-də daŋgə-saŋ tə-nə taɕi-nə bangə-dʑi,
また 道-DAT 遮る-PTCP.PST それ-ACC 石-ACC 運ぶ-SEQ
jemər-də oʂgə-**dʑi** **gina** **dʐu**, almaŋ-nə landzi-də
端-DAT 投げる-SEQ その後 dʐu 梨-ACC バスケット-DAT
igua taŋgə-dʑi okə-tɕe. **dʐu** anə kuŋ
全部 拾う-SEQ あげる-IND.PST dʐu 母 人
ɢurva-lə da kə emələ dʑiɕy luʂaŋ
三つ-PL また 再び 前 継続 路上
ju-dʐo.
去る-PROG.NPST
「道をさえぎっていた石を持ち上げて、道の端に投げてから、梨を全部かごに入れた。そして、三人はまた前に去っていった。」

例文(32)では、時間副詞節を形成する-dʑi gina dʐu も、文頭に置かれる dʐu も、いずれも前文情報の繰り返しや指示をしていない。このような構文では、中国語借用語 dʐu は複数のイベントを接続するために用いられ、談話の結束性を強化する機能を果たしている。

まとめ

大墩保安語における中国語借用語 dʐu は、統語的には必須要素ではないものの、語用論的観点から重要な役割を果たしている。情報構造の観点から見ると、中国語借用語 dʐu の前の要素は談話における旧情報であり、それに後続する要素は新情報である。さらに、中国語借用語 dʐu は一連のイベントを連結し、談話の結束性を強化する語用論的機能を持っている。

7.2 大墩保安語における中国語借用語 dʑu と中国語における「就」の機能の対照

魏文君(2010:37)は語用論的観点から副詞「就」について考察しており、副詞としての「就」は「表示、簡略化、主観化、焦点標識の機能を持っている」と指摘している。本節では、結束性と情報構造の観点から、中国語における副詞「就」の表示と焦点標識の二つの機能から、中国語借用語 dʑu がそれらの機能を有するか否かを対照し、大墩保安語における中国語借用語 dʑu が中国語の「就」から借用した可能性のある機能について検討する。

魏文君(2010:37)によれば、「表示」とは、特定の形式を通じて何らかの関係を提示することを指す。さらに、テキストの結束性の観点から、副詞「就」は文と文の論理関係を明示的に示す機能を持つ、と指摘している。例(33)における前後二つの節の関係を見ると、後ろの節は前の節に対する追加的説明である。この文脈において、副詞「就」は「兄弟姉妹 4 人」という範囲に関して、例(33)で示された事例以外にも、さらに他の例外が存在する可能性を示唆している。

(33) 王光山　姊妹　4　个，**就**　他　一　个　是　男孩。(魏文君 2010:37)
人名　兄弟姉妹　四　個　就　3SG　一　個　COP　男
「王光山は兄弟姉妹が 4 人いて、彼だけは男である。」

7.1 節に述べたように、大墩保安語における中国語借用語 dʑu は談話の結束性を高める機能を有している。このような中国語借用語 dʑu の談話の結束性を高める機能は、中国語の副詞「就」が持つ表示機能の影響を受け、発展させたものと考えられる。

魏文君(2010:38)は、広焦点の観点から、副詞「就」が談話において強調機能を持ち、「就」の後の情報は話し手によって強調される新情報である、と指摘している。例(34)が示すように、副詞「就」の後ろの要素は新情報であり、話し手が聞き手に対して特に伝達したい焦点となる。このような構文において、副詞「就」を削除すると、当該情報の強調が弱まり、聞き手は話し手の意図する中心的な情報を十分に把握できなくなる。

(34) 他　周围　的　姑娘　都　光　着　脑袋，
3SG　周り　の　女　すべて　裸　PROG　頭
就　他　一　人　戴　帽子，　看上去　活像
就　3SG　一　人　かぶる　帽子　見たところ　まるで
一　个　有　三　分　醉意　的　外省
一　個　ある　三　分　酔った感じ　の　外省
小　公证　人。(魏文君 2010:38)
小さい　公証　人
「彼の周りの女性たちはみな頭に何もかぶっていないのに、彼一人だけが帽子をかぶっており、見たところ、三分ほど酔っているような外省の若い公証人そのものだった。」

これに対して、大墩保安語における中国語借用語 dʑu は、中国語の副詞「就」のような焦点標識の機能を有していない。ただし、大墩保安語においても、中国語借用語 dʑu の後に現れる要素は新たに提示される新情報であるという点で、中国語の副詞「就」と共通している。

以上、大墩保安語における中国語借用語 dʐu と中国語における「就」の機能の対照を行った。大墩保安語の中国語借用語 dʐu は、焦点標識としての機能は示さないものの、談話の結束性を高め、新情報を導入する機能において中国語「就」と共通性を持つことが明らかとなった。

8. 結論

本稿では，大墩保安語における中国語借用語 dʐu「就」の統語的特徴を検討し，さらに情報構造及び結束性の観点から、談話における中国語借用語 dʐu の語用論的機能を考察した。

大墩保安語における中国語借用語 dʐu の統語的特徴は以下のようにまとめられる。中国語借用語 dʐu は通常、-dʐi, -gum, -sə の三種の副動詞接尾辞で終わる副詞節の後に現れる。そのうち、-gum および-sə には直接接続できるが、-dʐi に後続する場合には、「〜した後/その後」を表す接続詞 gina/ -na を介し、-dʐi gina dʐu あるいは-dʐi-na dʐu の構造で現れる。また、名詞句に後続する場合もある。出現頻度は低いものの、中国語借用語 dʐu が文頭に置かれることもできる。

情報構造の観点から見ると、大墩保安語における中国語借用語 dʐu の前の要素は、前文で既に言及された情報を繰り返したり指示したりすることで、談話内の旧情報を構成する。一方、その後続要素は新情報に相当する。

談話の結束性の観点からは、大墩保安語における中国語借用語 dʐu は通常、前文情報の繰り返しまたは指示を通じて聞き手の注意を旧情報へ誘導し、新情報の導入に必要な談話的前提を整えるとともに、談話の結束性を強める機能を有している。しかし、一部の文脈において、中国語借用語 dʐu が前文情報の繰り返しまたは指示を省略し、複数のイベントを直接連結する場合もある。このような用法において、話し手は、聞き手が既に提示された旧情報と新たに導入された新情報を結びつけられるということを前提としている。その結果、明示的な言語形式が省略され、談話表現が簡略化されている。こうした文脈でも、中国語借用語 dʐu は複数のイベントを連結し、談話の結束性を高める機能を担っている。

大墩保安語における中国語借用語 dʐu と中国語における「就」の機能の対照分析から、大墩保安語における dʐu は、中国語の副詞「就」が有する表示機能の影響を受けていると考えられる一方で、焦点標識としての機能を借用していない。大墩保安語における dʐu は、談話の結束性を高めるとともに新情報を導入する点において中国語「就」と機能的共通性を示す。

6 節で示した例文から見られるように、大墩保安語の談話において、中国語借用語 dʐu は固有語である接続詞 gina/ -na と併用されることが多く観察される。7.1 節で述べたように、中国語借用語 dʐu は複数のイベントを連結する機能を持つ。接続詞 gina/ -na は「〜した後/その後」を表し、時間的継起を示す。これらの二つの形式は、意味的に重複している可能性がある。そのため、今後の研究においては、中国語借用語の dʐu と固有語の gina/ -na の機能的関係をより詳細に検討する必要がある。

謝辞

本論文を完成させるにあたり、多くの方からご指導とご指摘を頂きました。ここに心より感謝を申し上げます。論文を指導してくださった指導教員の児倉徳和先生に深く感謝して

おります。貴重なご指摘とコメントをくださった二名の査読者の方に感謝を申し上げます。本研究の言語調査に協力してくださった馬瑞先生に感謝を申し上げます。

略号一覧

1:一人称　2:二人称　3:三人称　ABL:奪格(Ablative)　ACC:対格(Accusative)　ADJZ:形容詞派生接尾辞(Adjectivizer)　ASC:連合(Associative)　CAUS:使役(Causative)　COM:共同格(Comitative case)　COND:条件副動詞 (Conditional converb)　CONN:接続動詞(Connective verb)　COP:コピュラ(Copula)　DAT:与位格(Dative)　EXCL:除外形(Exclusive)　GEN:属格(Genitive)　HON:尊敬語(Honorific)　IMM:即刻副動詞(Immediate converb)　IND:直接法(Indicative)　INT:目的副動詞(Intending converb)　INTJ:間投詞(Interjection)　NEG:否定(Negative)　NPST:非過去(Non-past)　PFV:完結(Perfective)　PL:複数(Plural)　PRF:完了(Perfect)　PROF:職業形動詞(Profession participle)　PROG:進行(Progressive)　PST:過去(Past)　PTCP:分詞(Participle)　QUOV:引用動詞(Quotative verb)　SEQ:系列(Sequential)　SG:単数(Singular)　SIM:同時副動詞(Simultaneous converb)

参考文献

布和・陳乃雄 (1981)「同人保安語概要」『民族語文』2:61-75.
陳乃雄 (1990)「保安语的演变轨迹」『民族语文』3:16-25.
吕叔湘 (1999)『现代汉语八百词』北京:商务印书馆.
敏春芳・冰心・刘星 (2020)「积石山保安语的汉语借词研究」『西北民族研究』4:185-194.
魏文君 (2010)「现代汉语中副词“就”的篇章功能」『现代语文(语言研究版)』5:37-38.
アルラ (2023)「情報構造から見た大墩保安語の ʂi」『北方言語研究』13:77-99.
――― (2025)「受身から見た大墩保安語の主題化」『北方言語研究』15:53-69.
漢典「就」https://www.zdic.net/hans/%E5%B0%B1. [2026 年 2 月 6 日アクセス].
Halliday, M. A. K., & Hasan, R. (1976) Cohesion in English. *English Language Series*. 14(1):47-50.
Lambrecht, Knud. (1994) *Information structure and sentence form: Topics, focus, and the mental representations of discourse referents*. Cambridge: Cambridge University Press.

The Function of the Chinese Loanword *dzu* in Bonan

Arula
(Tokyo University of Foreign Studies)

Keywords: Bonan (Mongolic), descriptive linguistics, language contact, pragmatics

This paper aims to discuss the syntactic properties and pragmatic aspects of the Chinese loanword *dzu* that appears in the discourse of the Dadun dialect of Bonan, a Mongolic language spoken in Gansu Province, China. It argues that although the Chinese loanword *dzu* is not a syntactically obligatory element, it plays an important role from the perspectives of information structure and cohesion. In terms of information structure, the element preceding the Chinese loanword *dzu* encodes old information in the discourse, whereas the element following it represents new information. Moreover, the Chinese loanword *dzu* connects a sequence of events, thereby enhancing the cohesiveness of discourse.

The Chinese loanword *dzu* in Dadun Bonan typically follows adverbial clauses with one of the three converb suffixes: *-dzi, -gum,* and *-sə*. It can directly follow *-gum* and *-sə*, while after *-dzi*, it must be used with the conjunction *gina / -na*, as in "verb-*dzi gina*" or "verb-*dzi-na*", meaning "after" or "and then". *dzu* may also follow the construction *təŋgə-sə*, or a noun phrase. Less commonly, *dzu* appears at the beginning of a sentence.

Functionally, the Chinese loanword *dzu* is typically used to repeat part of the preceding sentence, which is considered old information in terms of information structure. The repeated part provides a contextual basis for introducing new information and enhances the cohesion of discourse. However, the Chinese loanword *dzu* also used without repeating part of the preceding sentence. In these contexts, the hearer is expected to associate the new information with what is already known. Even when not overtly repeated, the Chinese loanword *dzu* connects a sequence of events and enhances the cohesion of the discourse.

Based on a contrastive analysis of the Chinese loanword *dzu* in Dadun Bonan and the Chinese adverb 就, it can be indicated that the Chinese loanword *dzu* in Dadun Bonan is influenced by the representational function of 就, but does not adopt its role as a focus marker. However, the Chinese loanword *dzu* in Dadun Bonan shares functional similarities with 就 by enhancing discourse cohesion and introducing new information.

（アルラ　ruramongol@gmail.com）